

従業者向け

児童発達支援事業所・放課後等デイサービス 多機能型事業所評価表

## 2024年度 ハッピーテラス静岡駅南教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	2	限られたスペースであるため、活動の内容によってはせまく感じることがあるが、カーテンやパーテーションで仕切るなどの工夫をして過ごしやすいとしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	規定より少しゆとりのある人員体制での運営をおこなっている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	活動の場は一部屋のため、全体が見渡せる状態である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	毎日、清掃や消毒をおこない、清潔な環境づくりを心がけている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	状況に応じて、相談室を利用する、カーテンやパーテーションで仕切り空間をつくるなどの工夫をしている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	1	常に会議や振り返り、相談の場をつくり、共有するようにしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	年に一度、保護者アンケートを実施し、いただいたご意見を参考に、教室運営に反映させている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	年に数回の面談での聞き取りや、意見を話し合う場を設けている。業務においての変更や新規事項などは、組織体制を組み、情報伝達、確認を行っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3	現在はおこなっていない。必要に応じて、今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	社内研修や外部研修など、積極的に参加し、職員間で共有している。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	ハッピーテラスホームページで公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0	こどもに対しても面談をおこない、どんなことがしたいのかの聞き取りをおこなっている。個別支援計画には、こどものニーズや課題を踏まえたくらみで作成をしている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	支援計画作成の際に、児童発達支援管理責任者と職員との間で会議をおこない、意見を出し合ったうえで、目標や手立ての検討をしている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	個別支援計画は作成時点で共有し、日々の支援のなかでも再確認、計画に沿った振り返りをおこなっている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	ツールを用いてのアセスメントをおこない、日々の様子とのすり合わせをしながら支援につなげている。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	個別支援計画には、各項目について、支援内容の設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	その日のこどもたちや、その様子に合わせて、毎日プログラムを考案し、話し合いをしたうえで提供している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	毎週決まっているテーマをもとに、楽しく活動できる取り組みを考えている。定期的に繰り返すことで、学びとなる場面もある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	集団活動が中心であるが、要望や状況に応じて個別活動を取り入れている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	トレーニング内容の共有や、実施時の職員の配置などの確認をしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	その日のこどもの様子で気になった点については、その日のうちに共有、話し合いをしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	その日の様子を支援目標と照らし合わせて、記録を取るようになっている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	日々のモニタリングと定期的なモニタリング会議をおこない、計画の見直しについての話し合いをしている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	2	1	4つの基本活動を取り入れて支援をおこなっているが、地域交流の機会が少ない。積極的に外へ出る活動を考案するようしていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0	いくつかの選択肢の提示をするなど、こどもにどうしたいのかを考える機会を作っている。自己決定の苦手なこどもには、トレーニングのなかでも選択の機会を設けるようになっている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	児童発達支援管理責任者が参加することが多いが、事前に情報共有をしたり、状況をよく理解した職員が同行する場合もある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	保護者からの要望があった際には、学校への見学や、担任の先生との情報共有をしている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	0	3	学校への送迎をしていないため、定期的な学校との情報共有の機会がない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	同法人内の児童発達支援事業所からの移行が多く、就学前の様子や情報についての共有ができています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	3	卒業以降の障害福祉サービス事業所より、直接情報提供を求められたことがないが、相談支援事業所を通して、他事業所への情報共有をしている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	3	児童発達支援センターとの連携はできていないが、その他の関係機関に対して、必要に応じて相談をするようになっている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	3	それぞれの状況やプライバシーへの配慮もあり、現在は積極的に機会を設けていない。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	0	3	積極的な参加はできていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	その日の活動の様子や気になる様子があったときには、その日のうちに伝えるようにしている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	家庭での対応についての助言はおこなっている。また、家庭向けの研修などの案内をしている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	運営規程は教室入口に掲示。支援プログラムは、その日の内容を記載したものを渡している。利用者負担等については、契約時に説明をしている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	こどもへの面談もおこない、思いを直接聞くようにしている。そのうえで、保護者の意向とを確認しながら支援計画の作成をしている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0	作成時、更新時には必ず説明をおこない、同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	送迎時に相談がある場合もある。できるだけその場で回答や助言ができるよう努めている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3	保護者同士で交流する機会は設けていない。相談があった場合は、きょうだい同士のかかわりについての助言を適宜おこなっている。事業所アンケートの結果では、希望する保護者は2割に満たなかった。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	苦情を含め、いつでも相談してほしい旨は、契約時に説明している。相談があったときには、いつでも対応することができるようにしている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	毎月「ハッピーテラスからのお知らせ」でトレーニング内容やスケジュールを通知している。可能なときには、LINEにて活動の様子を伝えている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	鍵のかかる書庫に保管するなどの管理をしている。個人情報は事務室でのみ取り扱いをしているが、事務室へのこどもの入室がないよう徹底していきたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	口頭でのお伝え、文書での提示など、わかりやすく伝わるよう配慮している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3	現在はおこなっていない。必要に応じて、今後検討していく。
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	マニュアルを作成し、教室入口に設置している。年間を通して、定期的に訓練を実施している。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	業務継続計画を策定し、定期的に避難訓練を実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	契約時や定期的におこなうアセスメントで確認している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	2	医師の指示書は受け取っていないが、保護者からアレルギーについては聞き取りをしている。食物を扱うイベントの際には、その都度保護者に確認をしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	安全計画を作成し、研修や訓練を実施している。

対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	契約時に緊急時の対応について説明をしている。また、年に一回、確認のために保護者への周知をしている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	ヒヤリハットの事案が発生したときには、その日のうちに職員間で共有し、再発防止策の検討をしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	定期的に研修を受講したり、職員間でも話し合いをして、虐待防止に努めている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0	現在対象となるこどもはいないが、身体拘束となる状況についての確認、理解は職員間でできている。必要に応じて保護者へ説明をし、記載をするなどの対応の準備はできている。